

事務事業調書

平成27年度

事業No	374	課	健康推進課	係	予防係	起案者	高橋信
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	保健センター施設管理事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 4 地域医療 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		20-5-35		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分		市の内部事務事業		
根拠法令	有	安城市保健センターの設置及び管理に関する条例、安城市保健センターの管理及び運営に関する規則						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	昭和62年度	経過	28年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	保健センター利用者が			~になる	安全かつ快適に利用できる。		
事務事業の内容	保健センターの利用者が、安全かつ快適にサービスを受けることができるよう、施設を維持管理し、提供します。							
改善・対策の履歴	【平成25年度】 電気、都市ガス、水道、ガソリンの使用量抑制のため、課内で環境教育を実施し、職員の意識向上に努めました。 保健センターは、災害時に保健師の活動拠点になるため、災害用備品を購入しました。 【平成26年度】 1階の待合室の古くなっていたロビーチェアを買換えました。乳幼児健診などで子どもが利用するところが清潔感のある待合室になりました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	57,751	50,217	79,704	72,095	69,618
財源計	54,916	44,862	74,349	66,740	57,963
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	54,916	44,862	74,349	66,740
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,835 (0.45)	5,355 (0.85)	5,355 (0.85)	5,355 (0.85)	11,655 (1.85)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	駐車場用地賃借	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	駐車場用地賃借(式)	活動の総事業費(千円)	9,361	8,899	9,296	
			活動にかかるコスト(千円)	9,361.00	8,899.00	9,296.00	
活動2	活動名 (活動内容)	保健衛生システム機器賃借	見込	1.00	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	保健衛生システム機器賃借(式)	活動の総事業費(千円)	5,848	5,722	823	
			活動にかかるコスト(千円)	5,848.00	5,722.00	823.00	
活動3	活動名 (活動内容)	各種業務委託、施設及び物品管理等	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託事業等(式)	活動の総事業費(千円)	38,132	31,186	48,997	
			活動にかかるコスト(千円)	38,132.00	31,186.00	48,997.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	事故件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	苦情件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	保健センターは、災害時に保健師の活動拠点となります。拠点としての機能強化のため、災害用備品（非常用発電機、投光器等）を用意しています。 保健センターは、開館から28年が経過し、建物全体の老朽化が進んでおり、28年度に改修工事を予定しています。市民の健康増進に寄与する施設としての役割を果たし続けるため、保健センター改修計画の立案を始めました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	駐車場の賃借料は、25年度は駐車場の一部を地権者の都合で2ヶ月間借用できなかったため、コストが下がりましたが、平成26年度は通常の年間契約に戻したため、コストが上昇しました。保健衛生システム機器はコストが下がったように見えますが、4月にリースが終了し、新機器を買い取ったためです。各種業務委託、施設及び物品管理等については、システム機器一式（17,334千円）の購入があり、コストが上昇しています。
成果	適切な施設管理、及び必要に応じた修繕等を適宜実施することで、センター利用者からの苦情件数、事故件数0につながっていると考えられます。 ただ、施設の老朽化が進んでおり、平成25年度で保健センターでの人間ドック事業が終了したので、保健センターのフロアの見直しも必要になってきていることから、より快適に市民の方に施設を利用してもらうため、改修案を練ることができた。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
電気、都市ガス、水道、ガソリン等の使用量の抑制と、施設管理に関わる委託業務等のコスト削減に努めていきます。 保健センター改修設計を行うにあたり、市民の利用しやすく、また、現在実施している事業をスムーズに行える施設を目指します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	保健センター開設より28年が経過し、老朽化がみられるようになり、3階で実施している人間ドック事業が25年度で終了するなど保健センターのフロア見直しも必要になってきていることから、保健センター全体の改修設計を行います。